

「トイレをもっときれいに」  
食生活改善推進協議会

◇秋之牟礼農村公園トイレの掃除がされておらずトイレとして機能を果たしていない。

「回答」受益者管理のトイレとして建設したが、該当する集落が広域で、どの集落が管理するか特定できない状況であった。しばらくは町で管理し、今後は協定組織などで管理するよう推進する。

◇畜産臭気について、改善命令はできないか。地区住民の声(苦悩)を理解してほしい。

「回答」家畜排せつ物処理において、悪臭を軽減するよう指導している。酵素や微生物資材を活用し悪臭対策に取り組んでいるが、まだ十分とはいえない。今後も関係機関と協力し継続して指導していきたい。

◇温泉センター東泉望の浴槽内に、湯垢あかがあり掃除なども徹底されていない。町として現場指導できないか。

「回答」湯垢を除去する薬品が高価なため使用頻度が少なかった。今後は薬品を定期的に使用し湯垢対策を万全にし、高圧洗浄機などを適正に使用した清掃作業を徹底するよう指導した。

◇若い女性らが使用できるスポーツジムのような施設の開放

はできないか。有料でも構わないのでトレーナーを置いて指導してもらいたい。

「回答」体育館にスポーツマシンなどの道具を設置することは可能だが、トレーナーの指導となると人件費が必要となる。要望が多ければ生涯学習講座などで今後検討したい。

◇宮ノ浦港にある公衆トイレは釣り客などが使用し汚れている。管理はどこになるのか？

「回答」宮ノ浦港は県管理港湾であり、当初旅客船が寄港していたため地元で管理するようお願いしていた。地元でトイレの必要性を検討していただき、必要であれば他の港湾同様に地元管理をお願いしたい。

◇町内の沿道にツワブキが植栽されているが、商品化する考えはないか。観賞用だけでもいい。

「回答」株を増やすため、沿道やストーンパークにツワブキを植栽し育苗中である。11月の「つわぶきウォーキング」には、加工品を参加賞にするなど、今後は商品化に向けて取り組んでいきたい。

◇町には高校がなく町外へ通学するか、寮や下宿生活をしなければならぬ。高校生への何らかの助成の考えはないか。

「回答」獅子島中学校を卒業し



↑食改会員から女性ならではの意見が出される

た高校生(高専生)には、平成24年度から国の補助事業で助成金制度があるが、町内の高校生は通学または下宿(寮)生活を余儀なくされている。このような状況を国や県に理解していただき、助成制度の拡大をお願いしたい。

◇火ノ浦から山門野までの県道沿いには、草木が生い茂り、街灯も無く暗い。高校生がバイクで帰ってくる時など暗くて危険である。街灯を設置する考えはないか。

「回答」県道葛輪瀬戸線であるため、管理者である北薩地域振興局に確認した。県では交差点には、街灯設置を行うが通常の道路では設置はしない。

「離島補助の拡充を」  
獅子島会場

◇片側保育園にある遊具が壊れているので撤去できないか。

「回答」すべり台、回転式シーソーは撤去済み(9月8日)。

◇ごみステーションの金網が破れたり、ドアが錆びついでいて開閉がうまくできない。修繕の補助はないか。

「回答」年間10基の予算で、ごみステーションの新規建て替えの助成を行っています。一部の修理、補修については各集落でお願いします。

◇新婚夫婦の住める住宅の確保はできないか。空き家になっていく教職員住宅を島民に賃貸する考えはないか。

「回答」今後の児童、生徒の推移と教職員数を考慮し、年次的に町営住宅に移管する。空き家改修事業では、総額の2分の1以内で150万円を限度額として補助金交付をしています。

◇『道の駅だんだん市場』へ海産物などを搬入する際の輸送費助成はできないか。フェリーを利用して、商品を搬入しても利益につながらない。

「回答」だんだん市場に連絡をすると諸浦港まで受け取りに行くシステムを実施しています。ただしフェリー荷物運賃は自己

負担となります。  
◇立石港の埋め立て地に数層の花壇がある。雑草が茂り見ただ目も悪く花壇としての機能を果たしていない。どこが管理するのか。

「回答」立石地区の班長と以前協議しており、地元で管理してもらうよう協議済みです。花壇としての機能を果たしていないようであれば、再度地域のかたと利用方法について協議したい。

◇幼稚園の給食で、3歳児にも関わらず小学生と同じ箸の長さで、子どもが箸を使えないと苦情がある。子ども用の短い箸を購入する考えはないか。

「回答」幼児用に短い箸を購入し、速やかに幼児専用の箸に変更します。



↑獅子島会場では離島ならではの意見や要望が